

月が丘アパート(1・2号棟)

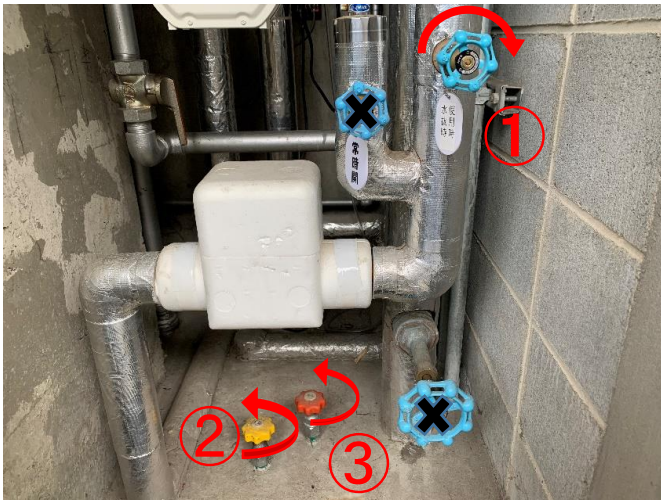
○水抜き操作方法

1. 台所・洗面所・風呂の蛇口を少し開けておきます。レバーは、湯、水の中央の位置にしてください。
 - ※ 水を流したままの方が水抜きがいいです。
 - ※ 冬期間の水抜き時期は、12月上旬～3月上旬を目安に行ってください。



レバーはセンター(中央)の位置にしてください。

2. 玄関脇のパイプシャフト(水道メーターのある所)内で水抜き操作を行います。
 - ① 止水栓(水色)のハンドルを時計回りに回して、水を止めます。
 - ② 水抜き栓(黄色)のハンドルを反時計回りに回して水道管内の水を抜きます。
 - ③ 湯抜き栓(赤色)のハンドルを反時計回りに回して給湯管内の湯を抜きます。



✕ 印のバルブは操作しません。

3. 長期間留守にする場合、トイレの給水レバーを操作してタンクの水を全て流してください。また、洗濯機のホースも外し、洗濯機用蛇口からも空気を入れてください。
4. 室内の蛇口から水滴が出なくなったら、事故防止のため、すべての蛇口を閉めてください。

以上で水抜き作業は完了となります。

○通水操作方法

1. 各蛇口が閉まっていること、洗濯ホースが繋がっていることを確認してください。
2. 水抜きの手順とは逆の順番で操作し、通水します。
 - ③のハンドル(湯抜き栓)を時計回りに回して、閉めます。
 - ②のハンドル(水抜き栓)を時計回りに回して、閉めます。
 - ①のハンドル(止水栓)を反時計回りに回して、水を出します。
3. 各蛇口のハンドル(またはレバー)を少しずつ、ゆっくりと開いて水を出します。この時、水と一緒に空気も噴き出しますので、水の飛び散りにご注意ください。

※通水当初は、濁った水が出る場合がありますので、濁りがなくなるまで水を流してからご使用ください

※止水栓、水・湯抜き栓のハンドルは、全開または全閉でご使用ください。中途半端な位置での使用は、漏水の原因となりますのでご注意ください。

給湯器の凍結防止について

お住まいのお部屋には、給湯器が設置されております。凍結による故障は自己負担となりますので、先の水抜き操作に加え、以下のことをお守りください。

- ① 冬期間中は、長期不在の場合も、宅内の契約ブレーカーを切らないでください。
また、分電盤内に給湯器及び凍結防止ヒーターの表示があるブレーカーは、絶対に切らないでください。
 - ② パイプシャフト（水道メーターがあるところ）に、凍結防止ヒーターがある場合は、コンセントが差し込まれているか確認し、抜けている場合は差し込んでください。
 - ③ 給湯器のコンセントも抜かないでください。（給湯器本体のヒーターが作動するため）
-
- その他詳細については、各取扱い説明書をご確認ください。
 - 電力の契約解除などを行う際には、事前に住宅センターにもお知らせください。